



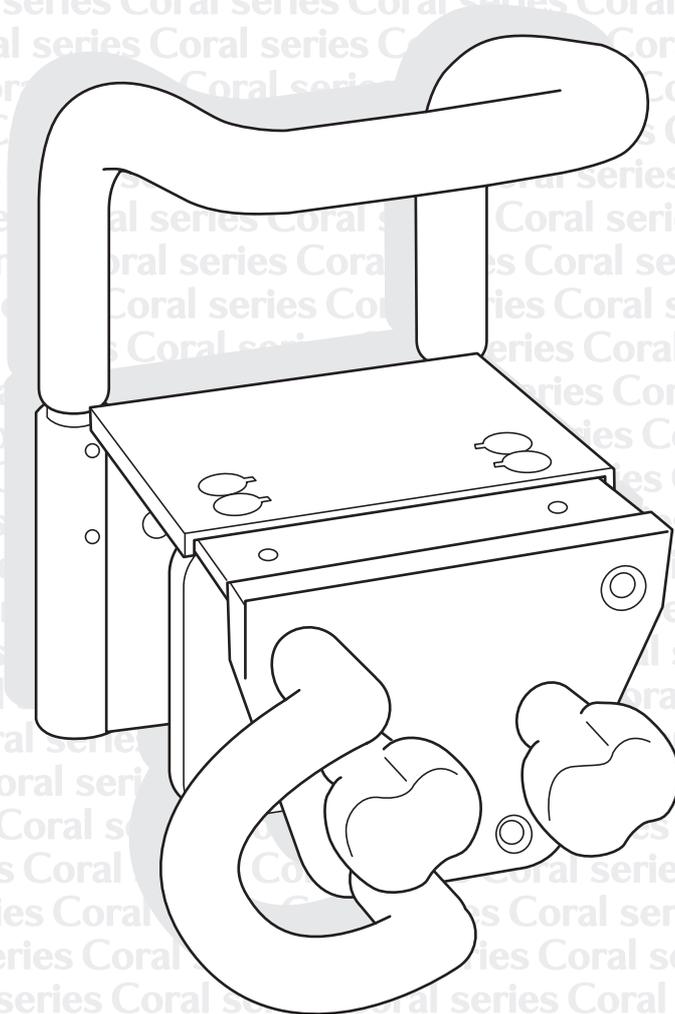
マツナガの入浴補助用具

浴槽用手すり

取扱説明書

保存用

保証書付



MATSUNAGA

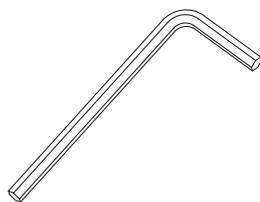
このたびは、(株)松永製作所製品の浴槽用手すりをお買い上げいただき、ありがとうございます。
 この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が
 説明してあります。ご使用になる前に、必ずお読みください。
 また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

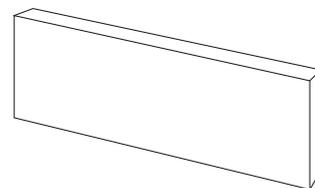
付属品



取扱説明書



六角レンチ 1本
(対辺4mm)



段差補正板 3枚
(40mm×160mm×4mm)

目次

安全にお使いになるためのご注意	1
各部の名称	3
ご使用前に	4
取り付け前の確認	4
フレームの取り付け幅の調整	5
浴槽の段差の補正	6
正しくセットされていることの確認	6
ご使用方法	7
浴槽内手すりの取り付け方法	7
浴槽への取り付け方法	7
出入り用手すりの高さ調整	7
入浴時の使用方法	7
もしこんなトラブルが発生したときは	8
お手入れの方法	8
保管場所・保証・アフターサービス	9
保証書	9

ご使用前に



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があり、および物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この表示は、必ずしていただく「強制」内容です。

警告

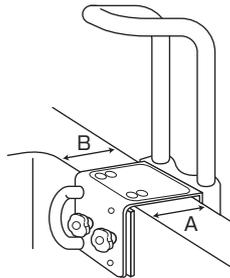
(禁止)



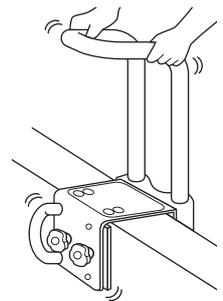
しては
いけない

- 故障・異常がある時は、直ちに使用を中止してください。
転倒事故の原因となります。
- 本品は、浴槽への出入り補助用手すりおよび浴槽内の立ち座り補助用手すりです。他の用途で使用しないでください。
事故の原因となります。
- 浴槽壁の厚みが40mm未満、150mmを超える場合は、取り付けしないでください。
本品が浴槽から外れ、転倒事故の原因となります。また、浴槽が破損することがあります。
- 改造や分解をしないでください。
本体の正常の仕様でなくなるため、事故の原因となります。

- 浴槽壁の厚み(AとB)の差が、45mmを超える場合は取り付けしないでください。
本品が浴槽から外れ、転倒事故の原因となります。



- 本品の手すりを持って、前後左右に強く押しったり引いたり、無理な荷重をかけないでください。
浴槽や手すりが破損する原因となります。



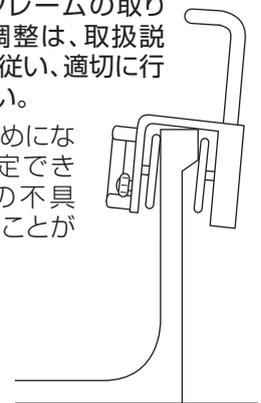
(強制)



必ずして
いただく

- 使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添ってください。
転倒等事故の原因となります。
- 毎回ご使用前に、出入り用手すりを前後左右に揺らし、ぐらつきがなく浴槽にしっかり固定されているか必ず確認してください。
転倒事故の原因となります。
- 浴槽壁に段差がついている場合は、必ず付属の段差補正板を使用してください。
段差補正を行わないと、本品が浴槽から外れて、転倒事故の原因となります。
- ご使用前は、手に付いた石けんや洗剤等を洗い流してください。
石けんや洗剤等が付いていると、滑りやすくなり、転倒事故の原因となります。

- 手すりを浴槽壁に取り付ける際のフレームの取り付け幅の調整は、取扱説明書P.5に従い、適切に行ってください。
手すりが斜めになったり、固定できないなどの不具合が生じることがあります。



⚠ 注意

(禁止)



しては
いけない

- 体重75kgを越える方は使用しないでください。
破損して事故の原因となります。
- 2人以上でのご使用はしないでください。
事故等の原因となります。
- 固定ノブを必要以上に締め付けしないでください。
浴槽が変形、または破損することがあります。(タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。)
- 浴槽以外のものに取り付けしないでください。
ケガや物が破損する原因となります。
- 熱湯をかけたり、熱湯の中での使用はしないでください。
ゴムシートがはがれたり、樹脂部品が変形して、ケガの原因となります。
- 塩素系薬剤による殺菌・消毒や、温泉水や硫黄系入浴剤をかけての使用はしないでください。
パイプの腐食の原因となり、破損してケガをする原因となります。
- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は使用しないでください。
樹脂が劣化または、破損してケガをする原因となります。
- 直射日光に当てないでください。
樹脂部品が劣化(変形または変質)し、破損してケガをする原因となります。
- 火気に近づけないでください。
樹脂部品が燃え、火災の原因となります。また、本体が熱くなり、やけどの原因となります。

(強制)



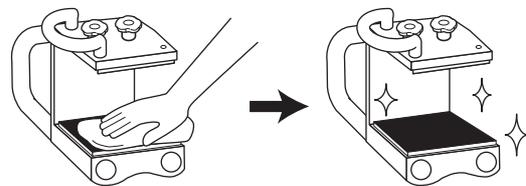
必ずして
いただく

- ご使用前は、浴槽の取り付け面に、湯アカ等の汚れや、水分および洗剤等が付着していないことを確認してください。
浴槽が汚れていると、使用中に本品が外れて、転倒事故の原因となります。

- 浴槽内手すりが必ず浴槽の内側を向くように取り付けてください。
取り付け方向が逆になると、しっかり固定できない場合があり、転倒事故の原因となります。

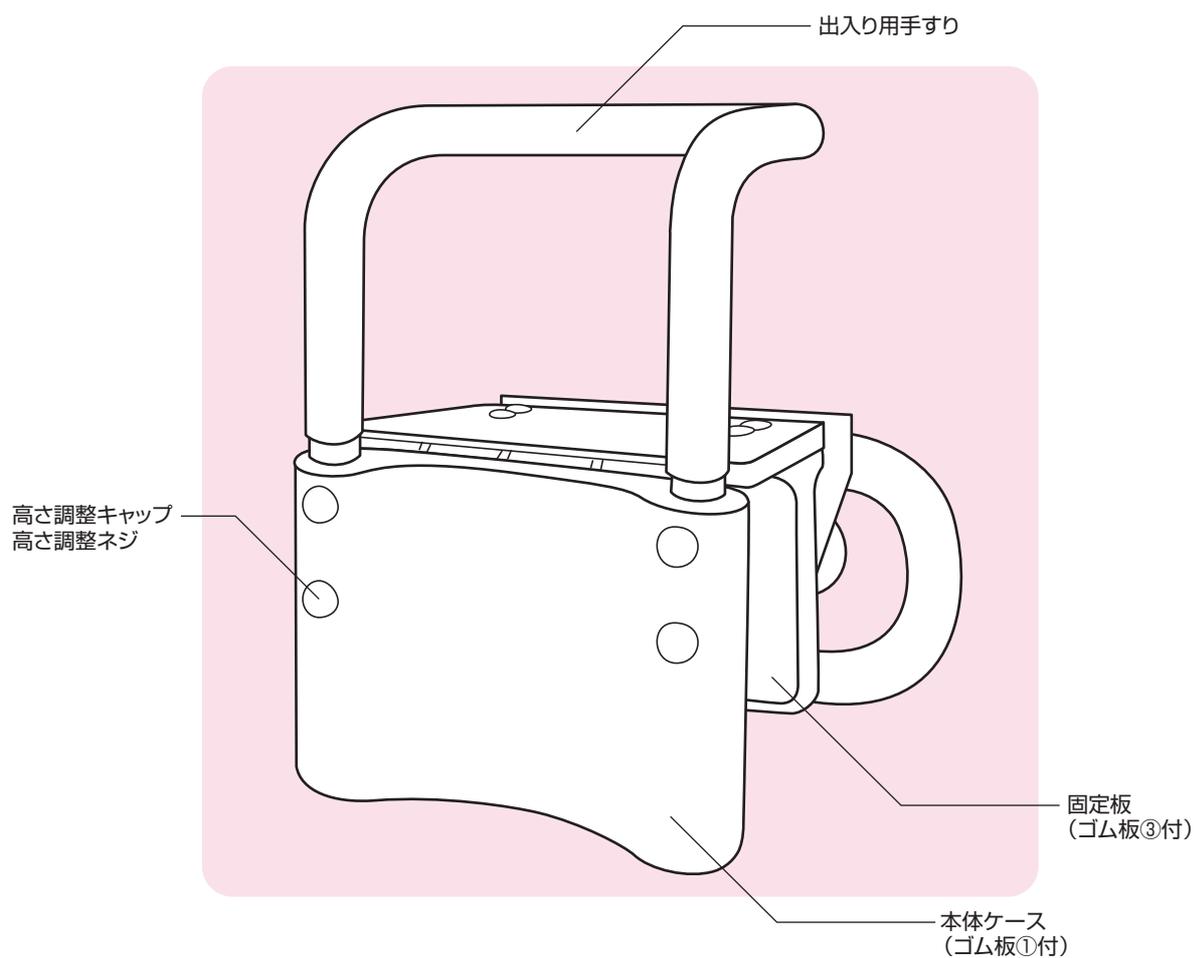
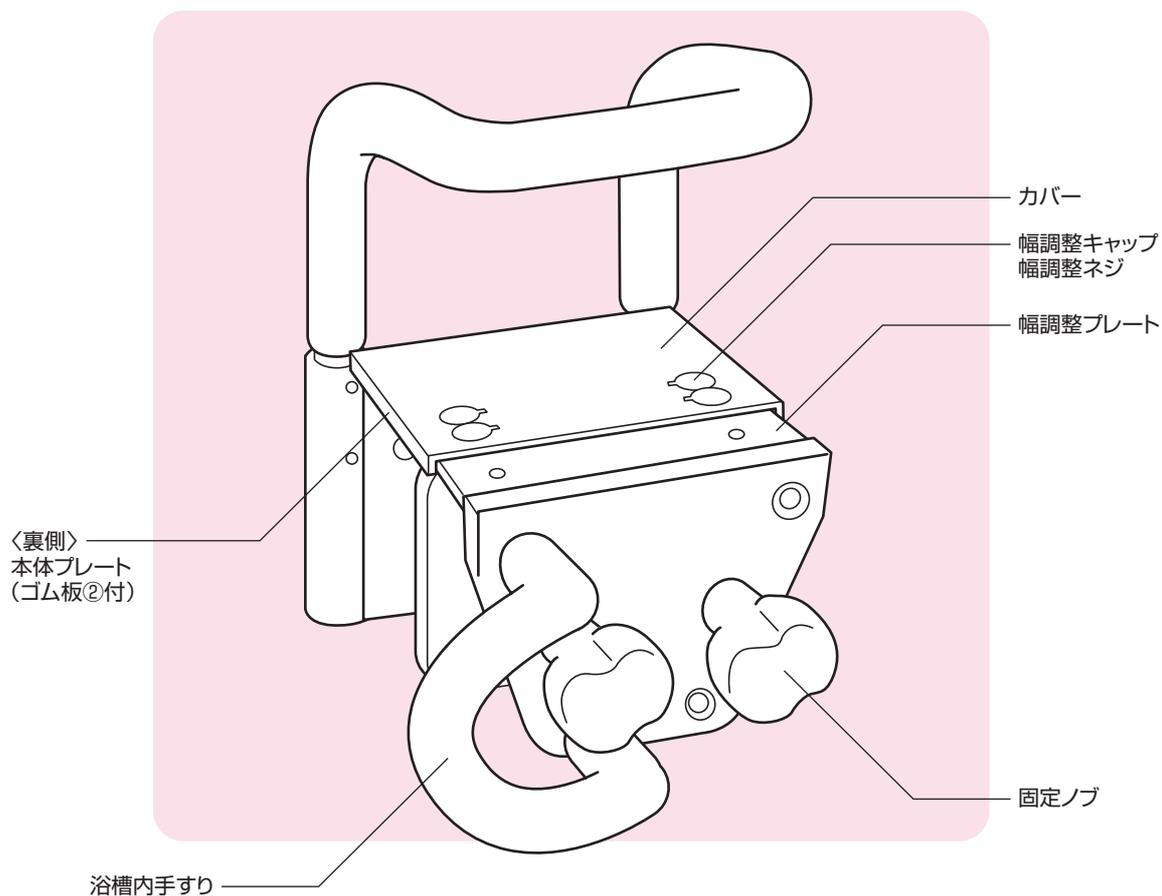


- 万一ゴムシートがはがれた場合、本体およびゴムシートに残った「のり」をきれいに取り除き、市販の耐水性強力タイプ両面テープを貼りなおしてからご使用ください。
ゴムシートがはがれると、本品が左右に滑りやすくなり、転倒事故の原因となります。



- 取り付け・取り外しの際は、本品を落とさないように、取り扱いには十分注意してください。
足などに落とすと負傷・骨折の恐れがあります。また、製品がこわれる可能性があります。

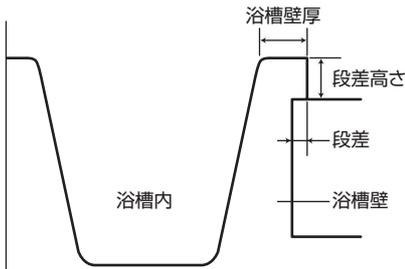
各部の名称



ご使用の前に

取り付け前の確認

●次のことを確認してから取り付けを行ってください。



○浴槽壁の厚みを測ってください。

「浴槽用手すりYG-01」を取りつけられる浴槽壁の厚みは40～150mmまでです。

フレームの取り付け
幅の調整 P.5

○浴槽壁に段差がないか調べてください。

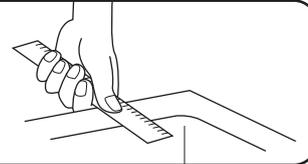
浴槽の段差の補正 P.6

取り付けのできない浴槽

●浴槽壁の厚みが40mm未満、150mmを超える浴槽

注意

●浴槽壁の厚みが40mm未満、150mmを超える場合は取り付けしないでください。本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となったり、浴槽が破損することがあります。



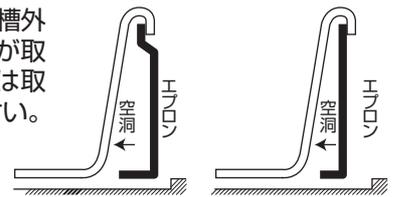
してはいけません。

●前面着脱式1方全エプロンの浴槽

前面エプロンが着脱可能な浴槽は、設備メーカーが水漏れ等による万が一の場合に、点検用として取り外しが可能な仕様となっています。この仕様の浴槽のうち、1方全エプロンと呼ばれるものに商品を取り付けた場合、繰り返しの使用によっては、エプロンが外れ、転倒やケガの原因となりますので、取り付けはできません。

注意

●ポリ浴槽などで、浴槽外側の前方エプロンが取り外し可能な場合は取り付けしないでください。

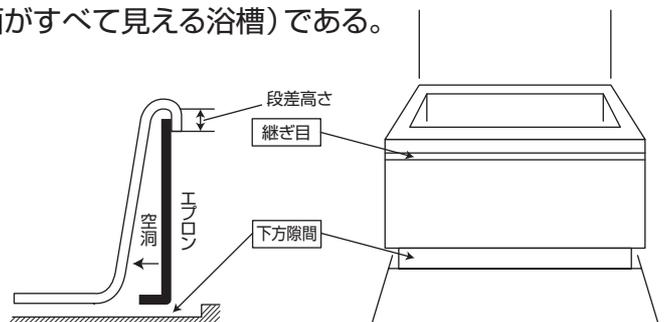


してはいけません。

以下の項目全てが該当する浴槽が「前面着脱式1方全エプロン」の浴槽です。

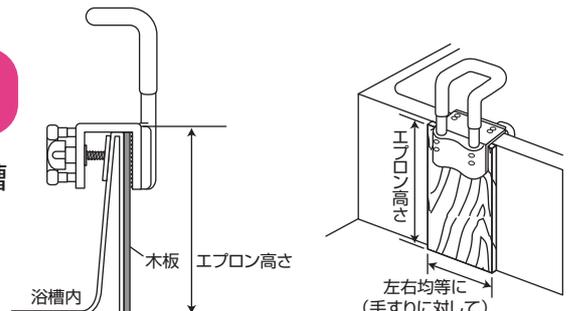
- 1 据置式浴槽（浴槽が床面におかれており、浴槽の前面がすべて見える浴槽）である。
- 2 上縁部に継ぎ目がある。
- 3 洗い場側下方に手の入る隙間がある。
- 4 取り外しのできるエプロンが前面1枚だけである。
- 5 段差高さが100mm以下である。

なお詳細が判断つきにくい場合は、現在お使いの浴槽製造メーカーまで、「前面着脱式1方全エプロン」であるかをお問い合わせください。



浴槽内外の壁が一体であるが、外壁の強度が弱く正しくセットできない場合

壁の補強として、エプロン高さに合わせた長さの木板を、浴槽壁の外側にあてがってから取り付けてください。



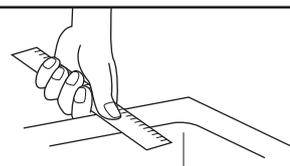
フレームの取り付け幅の調整

- 浴槽壁の厚みに合わせて、フレームの幅を適切な幅に調整します。

「浴槽用手すりYG-01」を取り付けられる浴槽壁の厚みは40～150mmまでです。

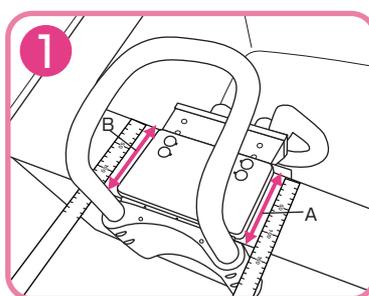
⚠ 注意

- 浴槽壁の厚みが次の範囲の場所では取り付けないでください。
40mm未満、150mmを超える場合
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となったり、浴槽が破損することがあります。



してはいけません。

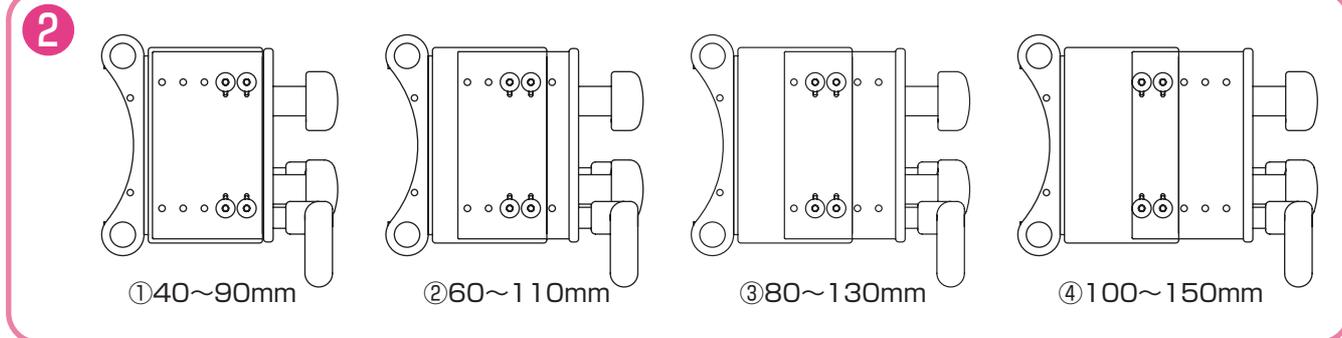
- 1 取り付けたい場所の浴槽壁の厚みを測ります。
取り付けできる浴槽壁の厚みは、40～150mmです。浴槽の厚みが最も薄いところAと、厚いところBを測ります。



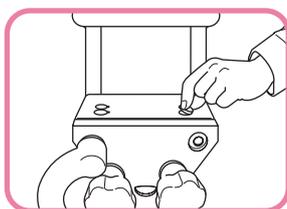
⚠ 警告

- 浴槽壁の厚み (AとB) の差が、45mmを超える場合は取り付けないでください。
本品が浴槽から外れ、転倒事故の原因となります。

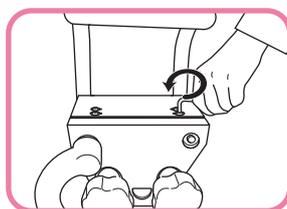
- 2 浴槽壁の厚み (最小Aと最大Bの範囲) に合わせ、フレームの幅を調整します。
(下図参照)



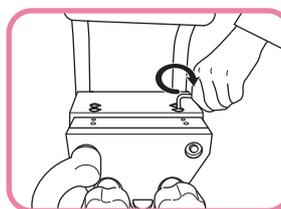
- ① 4ヶ所のキャップを外します。



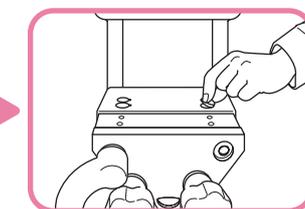
- ② 付属の六角レンチを用いて、4ヶ所のネジを外します。



- ③ 上図の範囲に合わせて調整し、4ヶ所のネジを締めて固定します。



- ④ 4ヶ所のキャップをはめます。



※適正トルク 6Nm

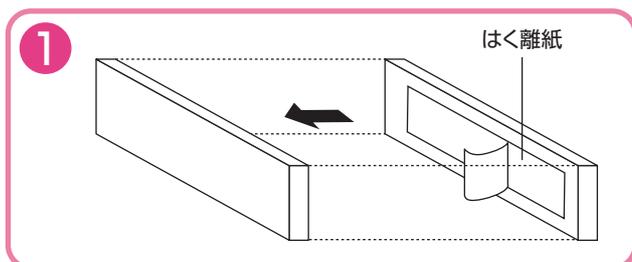
浴槽の段差の補正

段差が12mm以下の場合

●付属の段差補正板にて、段差を調整してください。段差補正板1枚の厚みは、4mmです。

1 段差に合わせて、段差補正板を用意します。

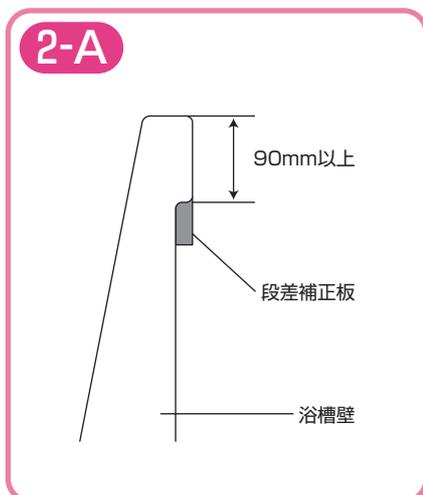
※2、3枚使用する場合は、初めに両面テープのはく離紙をはがし、重ね貼りしておきます。



2 段差補正板を貼ります。

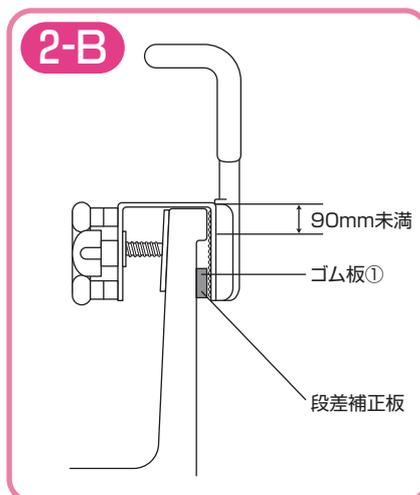
A 段差高さ90mm以上の場合

段差下端に接する位置へ段差補正板を貼ります。



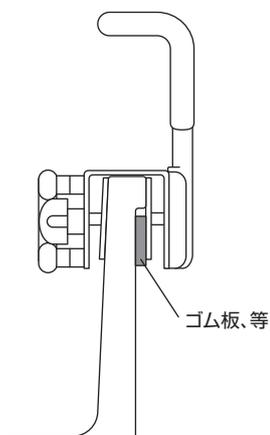
B 段差高さ90mm未満の場合

本体のゴムシートの下端に合わせた位置に段差補正板を貼ります。



段差が12mm以上の場合

●段差に合わせた厚みの木板または硬いゴムを当ててから取り付けてください。(下図)



⚠ 注意

- 使用前に浴槽壁から段差補正板がとれていないか確認してください。
本品が浴槽から外れ、転倒事故の原因となります。

していただく

正しくセットされていることの確認

- 浴槽の壁厚が40～150mmですか。
- 浴槽壁が弱く、変形してませんか。
変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- 段がある浴槽壁で傾いて取り付けられていませんか。
- フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていませんか。
- 締めつけが弱くグラつきはありませんか。

ご使用方法

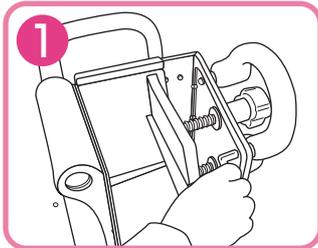
浴槽に水を入れる前に行ってください。

浴槽内手すりの取り付け方法

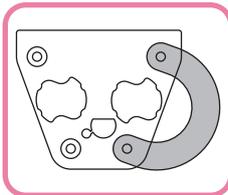
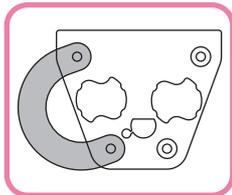
●使用者の使いやすい向きに合わせていただけます。

※適正トルク
6Nm

① 付属の六角レンチにて、ボルトを外し、使いやすい向きにして、再度締めて固定します。



2ヶ所から選択

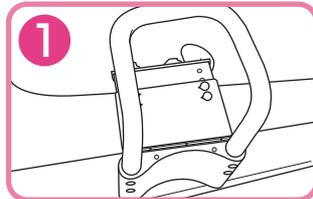


警告

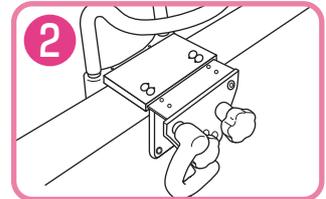
●全てのネジが、しっかりと固定されているか、必ず確認してください。
(転倒等事故の原因となります。)

浴槽への取り付け方法

① 浴槽壁に挟みま
す。



② 左右の固定ノブを
交互に均等に荷
重がかかるよう
にゆっくり回しな
がら、浴槽に締め
つけます。



出入り用手すりの高さ調整

●使用者の出入りしやすい高さに合わせていただけます。

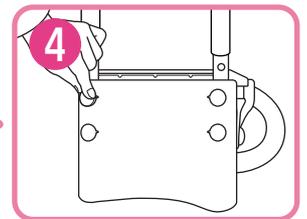
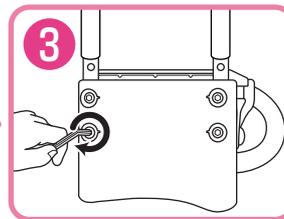
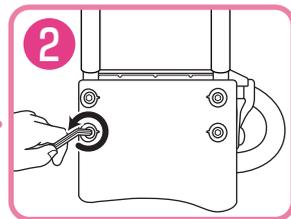
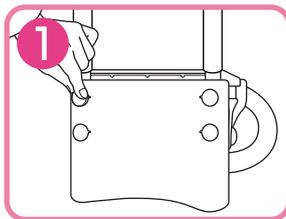
●手すりの高さは、浴槽壁の上面から、160,180,200,220,240mmの5段階に調整できます。

① 4ヶ所のキャップを
外します。

② 付属の六角レンチを
用いて、4ヶ所のネジ
を外します。

③ 使いやすい高さに合
わせ、付属の六角レン
チを用いて、4ヶ所の
ネジを締め、固定し
ます。

④ 4ヶ所のキャップをは
めます。



警告

●全てのネジが、しっかりと固定されているか、必ず確認してください。
(転倒等事故の原因となります。)

※適正トルク
3Nm

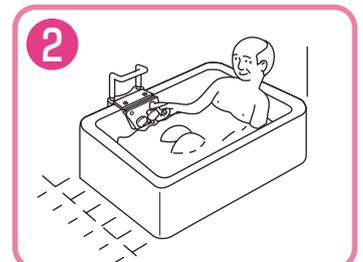
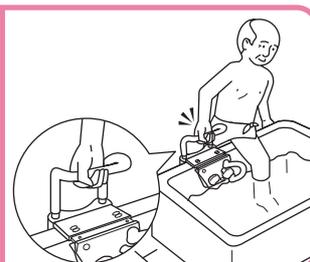
していただく

入浴時の使用方法

入るとき

① 出入り用手すりを握り、身体の安定を確認しながら、
片足ずつゆっくりと足を浴槽内に移します。

② 浴槽内手すりを持って、静
かにお湯につかってください。



出るとき

入るとき
の逆の
手順で行います。

もしこんなトラブルが発生したときは

ご使用されていて故障かな、と思うトラブルが発生したら、修理を依頼するまえに下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処(参照ページ)
本体がガタつく 本体が傾いている 本体が横滑りする	浴槽壁の厚みは、40～150mmですか	40mm未満、150mmを超える場合は、取り付けできません(P.4)
	浴槽壁の厚みの差が、45mmを超えていませんか	浴槽壁の厚みの差が、45mmを超える場合は、取り付けできません(P.5)
	フレームの幅は、浴槽壁の厚みに合わせて、適切な幅に調整されていますか	浴槽壁の厚みに合わせて、フレームの幅を調整してください(P.5)
	浴槽の段差に合わせて、段差補正を行っていますか	段差補正を行ってください(P.6)
	浴槽壁から段差補正板が取れていませんか	市販の耐水性強力タイプ両面テープを貼り直してください
	固定ノブが緩んでいませんか	固定ノブを締め直してください(P.7)
	浴槽取り付け面は汚れていませんか	浴槽取り付け面の汚れ等を取り除いてください(P.2)
	取り付け方向が逆になっていませんか	浴槽内手すりが必要浴槽の内側を向くように取り付けてください(P.2)
固定板がはがれていませんか	市販の耐水性強力タイプ両面テープを貼り直してください(P.2)	
出入り用手すりがガタつく	高さ調整ネジが緩んでいませんか	全てのネジを完全に固定してください(P.7)
浴槽内手すりがガタつく	浴槽内手すりネジが緩んでいませんか	全てのネジを完全に固定してください(P.7)

お手入れの方法

■本品はご使用後、浴槽内から出し、入浴剤などを洗い流してください。

※汚れのひどい場合は、適量にうすめた中性洗剤を含ませた布で拭き、

汚れをきれいに拭き取ってください。

※消毒する場合は、逆性石けんをうすめて使用してください。

その後、きれいな水で、洗剤を洗い流してください。

■最後に、固く絞った布で水を拭き取り、日陰の通気性の良い所で乾燥させてください。

※浴室に置いておく場合でも、浴室を換気するなどして、乾燥させてください。

⚠ 注意

●塩素系薬剤、酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジンによる殺菌・消毒や、温泉水・硫黄系入浴剤をかけての使用はしないでください。
(パイプの腐食の原因や樹脂部品の劣化につながり、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は使用しないでください。
(樹脂部品が劣化または、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

●熱湯をかけないでください。
(樹脂部品が変形し、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

●直射日光に当てないでください。
(樹脂部品が劣化(変形または変質)し、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

◆寸法表

本体寸法 (mm)	幅210×奥行225×高さ310~390 (20ピッチ、5段階)	
手すり高さ (mm)	160~240 (20ピッチ、5段階)	
取付け可能浴槽縁幅 (mm)	40~150	
重量 (kg)	5.2	
材 質	フレーム、出入り用手すり	ステンレス
	浴槽内手すり	アルミ
	本体ケース、ノブ、固定板	ポリプロピレン (抗菌仕様)
	ゴムシート	エラストマー (抗菌仕様)

保管場所

浴槽用手すりを使用しない場合、次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になるところ
- 炎天下になるところ
- 水の中

保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 1. 火災、天災による故障・損傷の場合
 2. 取扱説明書に記載の使用方法・ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
 3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
 4. 消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
 5. 修理に要した運賃等の諸経費
- この保証書は日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または(株)松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。